



人生100年時代の

長生きリスク

への備え

「長生きリスク」などという
違和感を持たれる方も
いらっしゃるかもしれません。

もちろん、長生きをすること自体は喜ばしいことですが、
「お金」という観点で見ると、少し事情が変わってきます。
長生きのリスクとは、人生の寿命を全うする前に
「お金の寿命」が尽きてしまうことをいいます。

アクサ生命は、保険を通じて
お客さまの「長生きリスク」への備えをサポートしています。
安心して「長生き」ができるよう、一緒に考えていきませんか。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

お問合せ先・担当者

2018.11

「まだずっと先の話」と考えがちな老後の問題、対策を先のばしにして、よいのでしょうか？

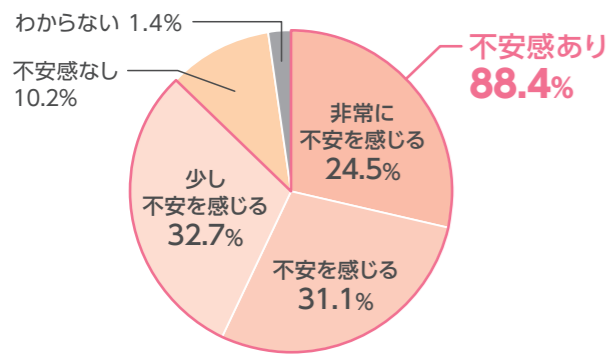
特に**女性**は、約**2人に1人**が**90歳まで生きる**時代です。



多くの**女性**が、**老後の生活に不安**を感じています。

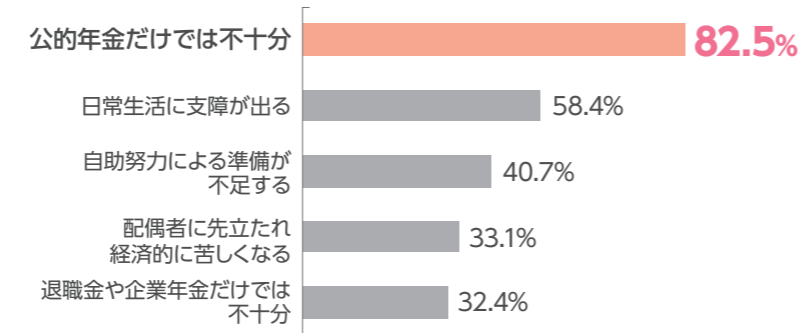
老後生活に「不安感あり」と答えた人の82.5%は「公的年金だけでは不十分」と感じているのをはじめとして、多くは生活資金面に不安をいただいています。

■老後生活に対する不安の有無(女性)



出典: 生命保険文化センター「平成28年度 生活保障に関する調査」

■老後生活に対する不安の内容(女性/複数回答)



出典: 生命保険文化センター「平成28年度 生活保障に関する調査」
※「老後生活に対する不安の内容」より上位5項目を抜粋。

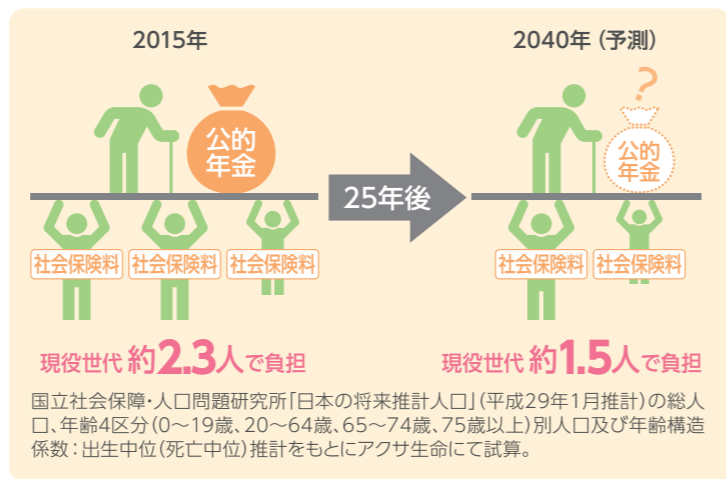
少子高齢化が加速しています

女性1人が生涯に産む子どもの推定人数*1は低下しています。



*1 15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、「合計特殊出生率」という。
出典: 厚生労働省「平成29年人口動態統計月報年計(概数)の概況」

現在の出生率の低下は、将来、人口構造の重大な変化をもたらす、さらには年金制度に深刻な影響を与えられ考えられます。右記の試算によると25年後には、1人の高齢者の公的年金を、約1.5人の現役世代の社会保険料で支えることとなります。



国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成29年1月推計)の総人口、年齢4区分(0~19歳、20~64歳、65~74歳、75歳以上)別人口及び年齢構造係数: 出生中位(死亡中位)推計をもとにアクサ生命にて試算。

公的制度への不安は「自助努力」で解消するしかありません。
約**6割***2の**女性**は、すでに**準備**を始めています。

*2 生命保険文化センター「平成28年度 生活保障に関する調査」「老後保障に対する私的準備状況(準備している人の割合)」より

30~50歳代の女性の多くは、「個人年金保険・変額個人年金保険や生命保険」、あるいは「預貯金」で老後生活資金を準備しているようです。

■老後保障に対する私的準備状況(20~50歳代女性/複数回答)

準備手段	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
個人年金保険・変額個人年金保険や生命保険	24.4%	37.7%	47.7%	55.9%
損保の年金型商品	2.5%	3.2%	8.5%	11.0%
預貯金	27.9%	35.0%	41.6%	50.8%
有価証券	1.0%	3.9%	3.1%	5.5%

出典: 生命保険文化センター「平成28年度 生活保障に関する調査」
※「60歳代」、「その他」を除く。

預貯金で老後生活資金を準備すると...

【例】積立年数: 30年間、毎月の積立金額: 16,000円 の場合

年利率*3	元利合計	元本総額	利息*4
0.02%	5,777,891円	5,760,000円	17,891円
0.10%	5,850,149円	5,760,000円	90,149円
0.50%	6,228,752円	5,760,000円	468,752円
1.00%	6,745,486円	5,760,000円	985,486円
3.00%	9,408,514円	5,760,000円	3,648,514円

*3 1年複利。
*4 預貯金などの利息(利子)には20%の源泉分離課税が適用されます。

老後のために準備しておきたいのは「生活資金」だけではありません。

年齢を重ねるほど健康への不安は高くなっていきます。

入院・手術費用

健康寿命が示すとおり、だれもが健康的な老後を過ごせるとは限りません。高齢になるほど健康面のリスクは高まります。

平均入院日数



出典: 厚生労働省「平成26年 患者調査」

先進医療技術料

先進医療は、厚生労働大臣により保険医療との併用が認められている最先端の医療技術です。高い治療効果が見込まれる一方、先進医療にかかる費用(技術料)は全額自己負担となるため、治療内容によっては重い費用負担となることがあります。

先進医療にかかる費用(技術料)

先進医療技術の技術名	技術料(平均額)*6
重粒子線治療	3,149,172円
陽子線治療	2,765,086円
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	581,224円

*6 出典: 平成30年1月17日中央社会保険医療協議会総会資料「平成29年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について」(平成28年7月1日~平成29年6月30日の実績報告)

※上記例は2018年10月時点で厚生労働大臣により定められている先進医療です。先進医療は随時見直されますので、最新の内容は厚生労働省のホームページでご確認ください。

※2016年4月より重粒子線治療・陽子線治療は、一部、健康保険の適用となっております。

葬儀代などの死後清算費用

葬儀費用や入院費の清算費用などが、ご家族の負担となることがあります。

葬儀費用の合計 **195.7万円**

出典: 財団法人 日本消費者協会「第11回 「葬儀についてのアンケート調査」報告書」(平成29年)

がん治療費用

がんは2人に1人がかかる*5他人事ではない病気です。

	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	生涯
男性	1.0%	2.6%	7.8%	21.1%	41.1%	61.6%
女性	1.9%	5.5%	11.0%	18.9%	29.3%	46.2%

*5 累積がん罹患リスク 男性62.7% 女性46.6% 出典: 公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計'16」

治療費もかかります。

■大腸がんにより、結腸切除術を受けた後、化学療法(抗がん剤治療)を受けた場合の1年目にかかった費用の例

手術(入院含む)	化学療法(6ヵ月間)	検査/画像	診察料など
1,436,940円	1,196,360円	140,920円	44,220円

- 医療費合計 2,818,440円
- 医療費3割自己負担 845,532円
- 高額療養費適用後の自己負担(食事代含む) ... 555,758円

※上記自己負担額の合計(高額療養費制度適用後)は、公的医療保険の被保険者が70歳未満・年収(目安)約370万円~約770万円の場合の治療例にもとづいて算出した金額例です。実際には、医療機関・診断内容・治療内容などにより自己負担額は異なります。*データ提供: (株)メディカル・インシュアランス・テクノロジー(2018年9月現在の公的医療保険制度にもとづき作成)

介護費用

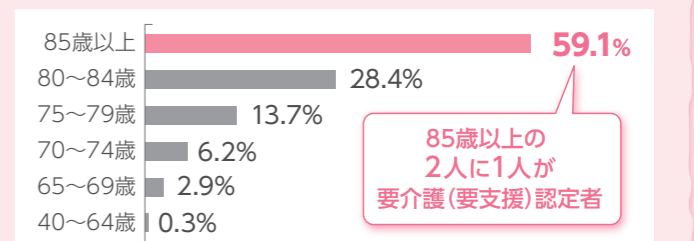
公的介護保険の要介護・要支援の認定を受ける可能性は、高齢になると急速に高まります。要介護状態になった場合、日常の介護費用のほか、住宅の改修費などの初期費用が重い負担となることもあります。

要介護・要支援認定者数の増加



出典: 厚生労働省「介護保険事業状況報告 月報(暫定版)」

年代別人口に占める要支援・要介護認定者の割合



出典: 厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」(平成28年9月)、総務省「人口推計(平成28年9月確定値)」をもとに作成。

ご本人やご家族が、病気や要介護状態になると、老後のために準備した「生活資金」を取崩さなければならない事態も考えられます。
「長生きリスク」はご家族全員の問題として考えていきましょう。